

寄附金トピックス

- **控除額が2倍になりました。**
個人住民税の控除上限が2倍（所得割額の2割）になりました。
- **ワンストップ特例制度が新設されました。**
確定申告が不要な給与所得者等の方が、年間に5自治体までの寄附であれば、寄附ごとに申請書を寄附自治体に送付することで確定申告が不要となります。

ふくおか「ふるさと寄附金」トピックス

- **平成27年度 お礼の品が14品から43品に増えました。**
キウイ、まごころ製品、県産酒などが加わりました。
- **ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」にて寄附のお申込みが可能になりました。**
「ふるさとチョイス」の、福岡県の申込みフォームに入力するだけで、申込みから支払いまでワンストップで完了するようになりました。（クレジット支払いの場合）



※写真はお礼の品の一部です。

〒812-8577

福岡県福岡市博多区東公園7番7号 福岡県庁総務部税務課管理係

TEL : 092-643-3062 FAX : 092-643-3069

E-mail: furusatokifukin@pref.fukuoka.lg.jp

平成26年度 ふくおか「ふるさと寄附金」

活用状況報告書

ふるさと寄附金へのご協力ありがとうございました。



福岡県知事 小川 洋

この度は、多くの皆様から多大なご寄附を賜り、厚くお礼申し上げます。

平成26年度は、延べ1,480人の方から18,893,825円のご寄附をいただきました。

今回、寄附金の活用状況について、ご報告させていただきます。

「県民幸福度日本一」の福岡県を目指して、県民生活「安定」「安全」「安心」の向上に全力を尽くしてまいりますので、今後とも福岡県を応援していただきますようお願いいたします。

平成26年度にいただきました寄附金の受入れ状況は、下表のとおりです。
みなさまのおかげで、過去最高の寄附金件数、金額となりました。

活用方法	件数 (件)	寄附額 (円)
「県民幸福度日本一」の福岡県づくりに向けた全般的な取組み	686	7,650,100
活力にあふれ成長力に富んだ経済と雇用の創出	77	2,005,000
災害や犯罪、事故がなく、安全で安心して暮らせること	96	1,260,000
高齢者や障害者が安心してはつらつと生活できること	62	680,000
女性がいきいきと働き活躍できること	30	297,000
安心して子育てができること	180	1,810,000
子ども・若者が夢を抱き、将来に向かってはばたけること	201	3,136,725
誰もが元気で健康に暮らせること	33	910,000
心のぬくもりと絆を実感できる社会であること	7	65,000
環境と調和し、快適に暮らせること	67	670,000
豊かな文化を楽しみ、幅広い分野の国際交流を実感できること	41	410,000
合 計	1,480	18,893,825

燃料電池自動車の普及

県では、燃料電池自動車（FCV）の先進的な普及拠点となることを目指し、地元の産学官が一体となって「ふくおかFCVクラブ」を設立し、FCVの普及と水素ステーションの整備を一体的に推進しています。

FCVの普及については、県公用車に2台を率先導入するとともに、全国で初めて、タクシー（5台）への導入支援を行いました。また、県公用車を活用して、試乗会等を県内各地で行う「ふくおかFCVキャラバン」を実施しています。

水素ステーションについては、候補地の紹介から地権者との交渉までの一貫したサポートや、県独自補助金、「グリーンアジア国際戦略総合特区」の税制優遇措置による支援を実施しています。これまでに、開所済みを含め10か所の整備が決定しています。

今後とも、「ふくおかFCVクラブ」を核に、FCVの普及と水素ステーションの整備を一体的に推進していきます。



「FCV」の公用車出発式



全国初！FCVタクシー導入



九州発にオープンした「イワタニ水素ステーション小倉」

農林水産業の6次産業化

県では、農林漁業者が生産から加工や販売まで取り組む6次産業化を推進しており、県内各地で商品開発が進んでいます。これまで、43件の商品開発を支援し、このうち平成26年度末までに一般販売された新商品は31商品に達しました。

また、平成27年1月、「ふくおか『農と商工の自慢の逸品』展示商談会」が開催され、県内76社による地域の農林水産物を使った逸品が勢ぞろいしました。スーパーマーケットや百貨店などとの個別商談の場も設けられ、商談会に出展した76社のうち17社が新たな取引を開始しました。

今後も6次産業化を進め、地域産業の活性化を図っていきます。



農と商工の自慢の逸品展示商談会



とよみつひめ（いちじく）のお菓子の詰め合わせ

青少年アンビシャス運動

県では、「豊かな心、幅広い視野、それぞれの志を持つ（アンビシャスな）たくましい青少年の育成を目指す県民運動、青少年アンビシャス運動を推進しています。その一部をご紹介します。

・「アンビシャス広場」
地域ぐるみでたくましい子供を育てるため、地域の公民館や学校の空き教室などを活用した子供の居場所として「アンビシャス広場」づくりをサポートしています。

・「青少年アンビシャスの翼」
平成26年7～8月の19日間、大自然の中で外国青少年と寝食を共にし、互いに切磋琢磨するサマーキャンプ（米国）に、県内の中学・高校生を20人派遣しました。



アンビシャス広場



青少年アンビシャスの翼

寄附金の活用事業の一部をご紹介します。

障害者支援

県では、障害者施設で働く皆さんの収入向上を図るため、障害者の皆さんがつくる製品や提供するサービスを「まごころ製品」(*)と名付け、大規模販売会や商談会の開催などを行い、売り上げ拡大に向けて取り組んでいます。

また、平成26年10月からは、1年間に10万円以上のまごころ製品を購入した企業を認定する「障害者応援まごころ企業認定制度」を全国で初めて開始しました。今後も、まごころ製品の積極的な活用やPRを行っていきます。



「まごころ製品」大規模販売会



「まごころ製品」商談会

子育てへの理解促進

全国に先駆けて推進している「子育て応援宣言企業」が、昨年度、5千社を突破し、宣言企業の従業員数は県内民間企業の3割に及んでいます。

また、「子育て応援の店」も2万店を突破するなど、子育て応援の輪は着実に広がっています。

今後も、登録拡大及び宣言企業の取り組み内容の向上を図っていきます。



子育て応援宣言企業5000社大会



「子育て応援の店」の登録推進

事前防災の推進

平成26年6月、福岡県苅田町で行政や消防、警察、医療関係、地域住民など約1200人の参加を得て福岡県総合防災訓練を実施しました。風水害や地震・津波災害などを想定し、緊急速報メールによる情報伝達や津波避難ビルへの避難、倒壊家屋からの救出、航空機を用いた捜索・救助など33種類の訓練を行いました。

今後も防災関係機関との連携、地域防災力の強化を図り、安全・安心で災害に強い福岡県づくりに取り組んでいきます。



津波転落者救出訓練



※「まごころ製品」は、ウェブサイト「まごころ製品ショップ」
<http://www.magokoro-ichiba.jp/>
で紹介していますので、ぜひ、ご利用ください。

いただきました寄附金は、このほかにも「県民幸福度日本一」の福岡県を目指し、様々な取組みに活用させていただいています。今後とも福岡県を応援していただきますようお願いいたします。